



兵庫県加古郡播磨町

～「誰でもできる農業」を実現！～ 自然光利用型水耕栽培システムを開発

へいしんき かいこうぎょうかぶしがいいしゃ
兵神機械工業株式会社

WEB サイト：<https://hsn-farm.com/>

参入法人の概要

法人形態：リース法人
代表者名：代表取締役社長 友藤 昇平
所在地：兵庫県加古郡播磨町古田 1 丁目 5-30
設立年次：昭和 4 年 12 月
資本金：9,500 万円
農業参入：平成 25 年
営農形態：土地利用型、施設栽培

主要作物：水耕栽培(ベビーリーフ、小松菜、サンチュ、クレソン)、うるち米
経営面積：95a (借入 95a)
主な販売先：野菜 量販店(直売コーナー)、流通業者、学校給食、カット野菜工場
米 福利厚生の一環として社内販売
売上額：1,500 万円(農業売上高)
従業員：常勤 2 名(うち障がい者 1 名) 非常勤 2 名

●農業に参入した目的や当該土地を選んだ理由を教えてください

兵神機械工業株式会社は加古郡播磨町に所在し、船舶用ポンプ・油水分離機・ODM、水耕栽培装置の製造販売を行う会社です。

昭和 40 年に工場を神戸市から播磨町に移転した当時は、水田や畑地に囲まれていましたが、近年宅地化が進み、町内の農地は大幅に減少し、高齢化が進む中で放置される農地を目の当たりにしてきました。そこで、日本の農業に対してなにかできないかと考え、本業の船舶用ポンプ等の技術を活かして自然光利用型水耕栽培システム(オンディーネ VH)を開発し、本社のある播磨町内で農業を始めました。

水耕栽培システムの販売を主として、自社栽培により装置の実証、栽培データの集積、分析や市況の傾向を把握することで、顧客に対し、水耕栽培システム導入後も農場運営のサポートとして、データ提供や情報交換などを行っています。

また、兼業農家の水田が耕作放棄地とならないよう、稲美町で社員の水田を借用し水稻を栽培しています。



水耕栽培システムの栽培台とハウス

●当該作物を選んだ理由を教えてください



水耕栽培したサラダ野菜

船舶機器で培った技術力を活かし「誰でもできる農業」を目指して水耕栽培に取り組みました。水耕栽培に適した作物として、当時はまだ生産量が少なかったベビーリーフやサラダ水菜などの生食用のサラダ野菜をターゲットに生産しました。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

参入当時は国内外問わず、さまざまな水耕設備の視察に出向き情報収集に努めました。また、大学の農学部出身者を採用し、技術面の向上を進めました。

栽培データを蓄積・分析し、季節、気候や地域にあう作物や肥料成分の検討を行い、栽培する品目を決めています。



生食用のサラダ野菜をターゲットに栽培中

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか

販売先は、直売所を訪れた業者や HP からの問い合わせ、展示会などでバイヤーからお声掛けいただき取引が始まったケースなどがあります。バイヤーから要望があった作物を栽培し出荷する場合があります。

また、直売所での販売データに基づき、市場の出荷規格に捉われず、手に取りやすい形態、内容量を検討し、バイヤーに提案することもあります。更に社内で新しい食べ方の研究や商品開発も行っています。

●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

土耕栽培では土日も水やりなどの作業があり、季節や天候で作業量が大きく左右されてしまうという課題がありました。このため、蓄積したデータから計画的にスケジューリングできる水耕栽培を目指しました。身体的な負担を軽減した作業姿勢で、会社員のように 9 時 5 時で 1 日の仕事が終わるような新しい農業スタイルを構築していきました。

●地域の方や農業委員会、JA、自治体との関係について気を付けていることがあれば教えてください

住宅地が混在している地域であるので、農業者に限らず挨拶などコミュニケーションをしっかりとるように心がけています。また、自社の周りの水路等については清潔に保つように清掃しており、用排水に関しては、会社から協賛金という形で水利組合に支出しています。

水稻を栽培している稲美町の農地に関しては、水利や草刈りなどしっかり管理しています。

●今後の経営方針について教えてください

ハウスの増棟などによる栽培面積の拡大は考えておらず、現状の施設・人員で、栽培データに基づいた、より効率的な生産により売上増を目指しています。

また、当社の水耕栽培システムは、障がい者が働きやすい環境整備や栽培マニュアルをユーザーに提案しています。今後も、障がい者が普通に働き、社会貢献できる手法のひとつとなるよう、更なる改良を進めます。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

農業は短期的に簡単に収益が出るというのではなく、地域に根ざしてしっかり営農すれば継続して収益を確保することができます。このため、経営の柱を作ることでは農業はひとつの方法として考えることができると思います。